

第13期

運用報告書(全体版)

シェール関連株オープン

【2019年10月9日決算】

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
皆様の「シェール関連株オープン」は、2019年10月9日に第13期決算を迎えましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。
今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社営業部 セールスサポートグループへ
フリーダイヤル ☎0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

[ホームページ]

<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式	
信託期間	2013年4月25日から2023年4月10日までです。	
運用方針	シェール関連株マザーファンド(以下、「マザーファンド」といいます。)を通じて、米国、カナダおよびメキシコのシェール関連企業の株式(DR(預託証券)を含みます。)に投資します。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	シェール関連株マザーファンド	米国、カナダおよびメキシコの取引所上場(上場予定を含みます。)株式(DR(預託証券)を含みます。)を主要投資対象とします。
投資制限	当ファンド	マザーファンドの受益証券への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	シェール関連株マザーファンド	株式(新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。)への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎年4月9日および10月9日(それぞれ休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額		S & P 500指数 (円換算後)		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
		税金配分	騰落率	(参考指数)	騰落率			
	円		%	ポイント	%	%	%	百万円
9期(2017年10月10日)	9,306	0	1.4	286,943.75	9.3	93.9	—	1,385
10期(2018年4月9日)	8,820	0	△ 5.2	278,339.71	△ 3.0	89.0	—	1,029
11期(2018年10月9日)	10,109	100	15.7	325,854.06	17.1	91.4	—	1,186
12期(2019年4月9日)	8,590	0	△15.0	322,646.69	△ 1.0	92.2	—	923
13期(2019年10月9日)	7,104	0	△17.3	309,904.59	△ 3.9	89.5	—	679

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万口当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込み。

(注) S & P 500指数(円換算後)は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

S & P 500指数(円換算後)は、当該日前営業日の現地終値に為替レート(対顧客電信売買相場の当日(東京)の仲値)を乗じて岡三アセットマネジメントが算出しています。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、株式組入比率および株式先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 株式先物比率=買建比率-売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

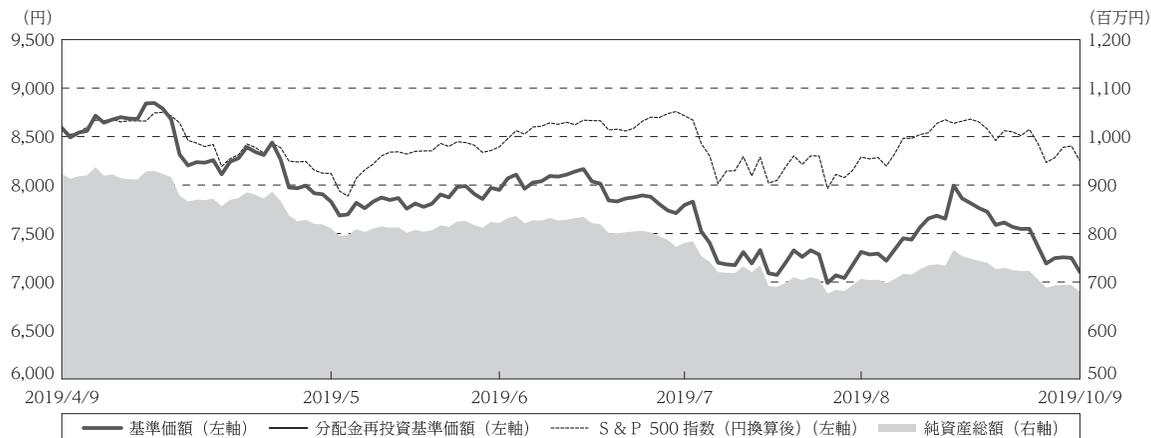
年月日	基準価額	S & P 500指数 (円換算後)		株式組入比率	株式先物比率
		(参考指数)	騰落率		
(期首) 2019年4月9日	円 8,590	ポイント 322,646.69	% —	% 92.2	% —
4月末	8,678	327,292.11	1.4	91.8	—
5月末	7,829	304,989.73	△5.5	88.8	—
6月末	7,950	315,277.13	△2.3	88.2	—
7月末	7,794	327,351.88	1.5	88.6	—
8月末	7,311	311,350.79	△3.5	90.2	—
9月末	7,547	319,636.38	△0.9	90.0	—
(期末) 2019年10月9日	7,104	309,904.59	△3.9	89.5	—

(注) 騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2019年4月10日～2019年10月9日)



期首：8,590円

期末：7,104円 (既払分配金(税引前): 0円)

騰落率：△ 17.3% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、S & P 500指数(円換算後)です。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首(2019年4月9日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主な投資対象である「シェール関連株マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・米国の公益株の保有がプラスに寄与しました。
- ・個別銘柄では、米国の輸送株の GENESEE & WYOMING INC-CL Aやカナダのパイプライン株の TC ENERGY CORPなどが上昇したことがプラスに寄与しました。

(主なマイナス要因)

- ・探査・掘削株の保有がマイナスに影響しました。
- ・個別銘柄では、米国の探査・掘削株の CABOT OIL & GAS CORPやDEVON ENERGY CORPが下落したことがマイナスに影響しました。
- ・為替市場で米ドルが円に対して下落(円高)したことがマイナスに影響しました。

投資環境

(2019年4月10日～2019年10月9日)

北米株式市場は、2019年4月上旬から5月上旬にかけては、米連邦準備制度理事会（FRB）による利上げ見送りと先行きに対する緩和的姿勢が示されたことを受けて上昇しました。その後は、トランプ大統領が対中制裁関税拡大を示唆したことや世界経済の減速懸念から下落したものの、FRBによる政策金利引き下げによる投資家心理の改善を受けて反発し、期末にかけてはもみ合う展開となりました。

原油価格は、2019年4月下旬から6月中旬にかけては、世界経済の減速懸念から大きく下落しました。その後は、もみ合いの動きが続きましたが、9月中旬にサウジアラビアの石油施設が攻撃を受けたことで急騰しました。期末にかけては、同国の原油供給量が早期に回復したことを受けて反落しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2019年4月10日～2019年10月9日)

<シェール関連株オープン>

「シェール関連株マザーファンド」の組入比率は、概ね高位を維持しました。

○シェール関連株マザーファンド

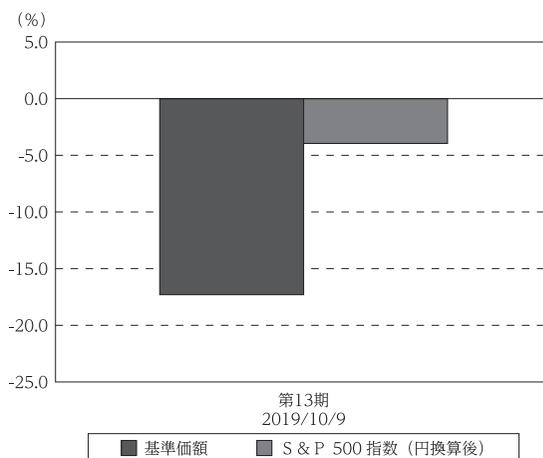
株式組入比率は、概ね80%台後半から90%台前半で推移させました。運用状況につきましては、探査・掘削株とパイプライン株を中心にエネルギー株を高位にウェイト付けしました。2019年8月以降は、資本財株のウェイトを引き下げ一方、公益株のウェイトを引き上げました。国別配分では、カナダ株のウェイトを引き上げる一方、米国株のウェイトを引き下げました。また、メキシコ株への投資は見送りました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2019年4月10日～2019年10月9日)

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数としているS&P 500指数（円換算後）の騰落率を13.4%下回りました。2019年4月上旬から6月中旬にかけて原油価格が下落したため、保有しているエネルギー株のパフォーマンスが相対的に劣後したことが主な要因です。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) 参考指数は、S & P 500指数（円換算後）です。

分配金

(2019年4月10日～2019年10月9日)

当ファンドは、毎年4月9日および10月9日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。

分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勧告のうえ決定します。

当期の分配につきましては、見送りとさせていただきます。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項 目	第13期
	2019年4月10日～ 2019年10月9日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	554

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(投資環境)

北米株式市場は、FRBによる金融緩和が買い材料となる一方、米中貿易摩擦や世界経済見通しに対する不透明感が上値を抑え、当面は一進一退の展開を想定しています。原油価格については、引き続き変動の大きい展開が予想されます。サウジアラビアの石油施設攻撃による供給懸念は、ひとまず落ち着いているものの、中東情勢の緊迫化は原油価格の押上げ要因になると考えられます。一方、米国の原油生産量は増加傾向を維持しており、供給不足から原油価格が急上昇するリスクは低いと想定しています。

(運用方針)

<シェール関連株オープン>

「シェール関連株マザーファンド」の組入れを高位に維持する方針です。

○シェール関連株マザーファンド

ファンドの基本方針に基づき、米国、カナダおよびメキシコの企業の中から、シェールガス／オイルの生産拡大により成長が期待される企業、エネルギーコストの低下により恩恵を受ける企業に投資をします。個別銘柄では、質の良い生産盆地を保有する探査・掘削株を優先します。また、株価調整により割安感が高まったと判断される石油精製株の買い付けを検討します。一方、米国とカナダの輸送株については、売却を行う方針です。なお、組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年4月10日～2019年10月9日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(30)	(0.385)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(35)	(0.440)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	21	0.262	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株 式)	(21)	(0.262)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(株 式)	(0)	(0.001)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	4	0.051	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0.043)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.007)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.002)	その他は、金融商品取引を行う為の識別番号取得費用等
合 計	92	1.166	
期中の平均基準価額は、7,851円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

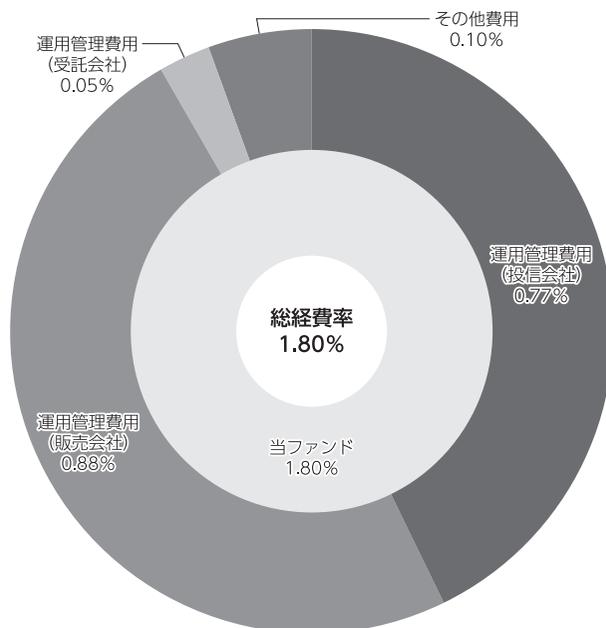
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.80%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年4月10日～2019年10月9日)

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
シェール関連株マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 106,886	千円 100,000

(注) 単位未満は切捨て。

○株式売買比率

(2019年4月10日～2019年10月9日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	シェール関連株マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	924,988千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	710,780千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.30	

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

○利害関係人との取引状況等

(2019年4月10日～2019年10月9日)

利害関係人との取引状況

<シェール関連株オープン>

該当事項はございません。

<シェール関連株マザーファンド>

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	B A	%	うち利害関係人 との取引状況D	D C	%
株式	百万円 101	百万円 422	23.9	百万円 119	百万円 502	23.7

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

シェール関連株オープン

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	2,076千円
うち利害関係人への支払額 (B)	573千円
(B) / (A)	27.6%

(注) 売買委託手数料総額は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはOKASAN SECURITIES TOKYO/JAPANです。

○組入資産の明細

(2019年10月9日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
シェール関連株マザーファンド	千口 869,158	千口 762,272	千円 651,818

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2019年10月9日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
シェール関連株マザーファンド	千円 651,818	% 95.0
コール・ローン等、その他	34,663	5.0
投資信託財産総額	686,481	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) シェール関連株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(613,382千円)の投資信託財産総額(651,785千円)に対する比率は94.1%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル=107.12円、1カナダドル=80.41円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年10月9日現在)

項目	当期末
	円
(A) 資産	686,481,334
コール・ローン等	34,662,529
シェール関連株マザーファンド(評価額)	651,818,805
(B) 負債	6,754,172
未払信託報酬	6,701,904
未払利息	13
その他未払費用	52,255
(C) 純資産総額(A-B)	679,727,162
元本	956,803,001
次期繰越損益金	△277,075,839
(D) 受益権総口数	956,803,001口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,104円

(注) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は277,075,839円です。

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、0.7104円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は1,074,954,810円、期中追加設定元本額は17,132,751円、期中一部解約元本額は135,284,560円です。

○損益の状況 (2019年4月10日～2019年10月9日)

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	△ 10,432
受取利息	125
支払利息	△ 10,557
(B) 有価証券売買損益	△134,996,103
売買益	9,314,648
売買損	△144,310,751
(C) 信託報酬等	△ 6,755,364
(D) 当期損益金(A+B+C)	△141,761,899
(E) 前期繰越損益金	△159,986,845
(F) 追加信託差損益金	24,672,905
(配当等相当額)	(30,497,791)
(売買損益相当額)	(△ 5,824,886)
(G) 計(D+E+F)	△277,075,839
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△277,075,839
追加信託差損益金	24,672,905
(配当等相当額)	(30,511,137)
(売買損益相当額)	(△ 5,838,232)
分配準備積立金	22,573,055
繰越損益金	△324,321,799

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

	決算期	第13期
(a) 配当等収益(費用控除後)		1,399,069円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)		0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金		30,511,137円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金		21,173,986円
分配対象収益(a+b+c+d)		53,084,192円
分配対象収益(1万口当たり)		554円
分配金額		0円
分配金額(1万口当たり)		0円

<お知らせ>

該当事項はございません。

用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
資産	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未収配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未収利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
負債	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
純資産総額(資産－負債)	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額(翌期に繰り越す損益金の合計額)です。
受益権総口数	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
配当等収益	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
有価証券売買損益	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
信託報酬等	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それに掛かる消費税等相当額です。
当期損益金	当期における収支合計です。
前期繰越損益金	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
追加信託差損益金	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
計	収益分配前の期中の収支の総合計です。
収益分配金	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
次期繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

(2019年10月9日現在)

<シェール関連株マザーファンド>

下記は、シェール関連株マザーファンド全体(762,272千口)の内容です。

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
EOG RESOURCES INC	12	—	—	—	エネルギー
HALLIBURTON CO	—	50	91	9,774	エネルギー
PHILLIPS 66	10	7	70	7,559	エネルギー
SCHLUMBERGER LTD	—	20	61	6,579	エネルギー
DEVON ENERGY CORP	90	30	62	6,719	エネルギー
ONEOK INC	18	23	156	16,802	エネルギー
SEMPRA ENERGY	—	7	102	10,940	公益事業
CABOT OIL & GAS CORP	135	—	—	—	エネルギー
CALLON PETROLEUM CO	200	—	—	—	エネルギー
CHESAPEAKE UTILITIES CORP	—	10	93	10,007	公益事業
CMS ENERGY CORP	—	20	128	13,732	公益事業
UNION PACIFIC CORP	14	5	75	8,112	運輸
ATMOS ENERGY CORP	—	10	111	11,916	公益事業
EQT CORP	60	—	—	—	エネルギー
GENESEE & WYOMING INC-CL A	10	—	—	—	運輸
CENTERPOINT ENERGY INC	30	—	—	—	公益事業
MARTIN MARIETTA MATERIALS	—	3	78	8,450	素材
NOBLE ENERGY INC	85	60	116	12,507	エネルギー
NORFOLK SOUTHERN CORP	14	4	66	7,144	運輸
EVERSOURCE ENERGY	15	15	127	13,633	公益事業
NISOURCE INC	36	—	—	—	公益事業
CHEVRON CORP	30	—	—	—	エネルギー
CIMAREX ENERGY CO	—	15	65	7,058	エネルギー
PIONEER NATURAL RESOURCES CO	—	14	172	18,515	エネルギー
CONOCOPHILLIPS	26	26	140	15,011	エネルギー
HESS CORP	42	35	217	23,290	エネルギー
MARATHON OIL CORP	120	—	—	—	エネルギー
MARATHON PETROLEUM CORP	14	15	89	9,611	エネルギー
OCCIDENTAL PETROLEUM CORP	17	30	124	13,370	エネルギー
VALERO ENERGY CORP	15	8	66	7,140	エネルギー
WILLIAMS COS INC	66	55	126	13,497	エネルギー
HOLLYFRONTIER CORP	—	15	78	8,369	エネルギー
HUNTSMAN CORP	30	—	—	—	素材
CONTINENTAL RESOURCES INC/OK	35	—	—	—	エネルギー
CVR ENERGY INC	—	14	59	6,385	エネルギー
KINDER MORGAN INC	116	110	220	23,578	エネルギー
LYONDELLBASELL INDU-CL A	10	10	81	8,744	素材
WPX ENERGY INC	—	120	117	12,597	エネルギー
TARGA RESOURCES CORP	—	26	98	10,550	エネルギー
MATADOR RESOURCES CO	70	70	104	11,165	エネルギー
LIBERTY OILFIELD SERVICES -A	55	—	—	—	エネルギー
PARSLEY ENERGY INC-CLASS A	90	140	222	23,784	エネルギー
AXALTA COATING SYSTEMS LTD	—	30	84	9,100	素材
SUMMIT MATERIALS INC -CL A	—	25	55	5,988	素材

シェール関連株オープン

銘柄	株数	当 期		業 種 等		
		期首(前期末)	株 数		評 価 額	
		株 数	外貨建金額		邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
CHENIERE ENERGY INC	53	45	268	28,719	エネルギー	
CARRIZO OIL & GAS INC	70	—	—	—	エネルギー	
CSX CORP	15	10	65	7,054	運輸	
DIAMONDBACK ENERGY INC	10	27	218	23,375	エネルギー	
PDC ENERGY INC	25	—	—	—	エネルギー	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,638 34	1,104 35	4,021 —	430,790 <66.1%>	
(カナダ)			千カナダドル			
CANADIAN NATURAL RESOURCES	50	55	180	14,492	エネルギー	
CANADIAN NATL RAILWAY CO	15	10	111	8,974	運輸	
ENBRIDGE INC	50	22	101	8,199	エネルギー	
TC ENERGY CORP	47	50	338	27,210	エネルギー	
CANADIAN PACIFIC RAILWAY LTD	16	7	194	15,606	運輸	
SUNCOR ENERGY INC	52	52	201	16,202	エネルギー	
WHITECAP RESOURCES INC	—	440	168	13,550	エネルギー	
GIBSON ENERGY INC	65	80	179	14,415	エネルギー	
PEMBINA PIPELINE CORP	95	65	305	24,591	エネルギー	
CENOVUS ENERGY INC	170	170	183	14,790	エネルギー	
INTER PIPELINE LTD	74	110	242	19,538	エネルギー	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	634 10	1,061 11	2,208 —	177,573 <27.2%>	
合 計	株数・金額 銘柄数<比率>	2,272 44	2,165 46	— —	608,364 <93.3%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、当ファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注) 株数・評価額の単位未満は切捨て。

シェール関連株マザーファンド

マザーファンドの運用報告書につきましては、ベビーファンドの運用報告書と作成対象期間が異なる場合には、データ・コメント等に不一致が生じることがありますのでご了承ください。

シェール関連株マザーファンド 第6期 運用状況のご報告 決算日：2019年4月9日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	米国、カナダおよびメキシコのシェール関連企業の株式（DR（預託証券）を含みます。）に投資し、投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。
主要投資対象	米国、カナダおよびメキシコの取引所上場（上場予定を含みます。）株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
投資制限	株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		S & P 500指数(円換算後)		株組入比率	株先物比率	純資産額
	騰落率	騰落率	(参考指数)	騰落率			
2期(2015年4月9日)	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
3期(2016年4月11日)	12,457	5.9	250,473.39	32.6	94.5	—	5,303
4期(2017年4月10日)	9,513	△23.6	221,366.04	△11.6	95.4	—	2,574
5期(2018年4月9日)	10,551	10.9	262,477.82	18.6	92.7	—	2,565
6期(2019年4月9日)	10,325	△2.1	278,339.71	6.0	91.9	—	997
6期(2019年4月9日)	10,313	△0.1	322,646.69	15.9	95.0	—	896

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) S & P 500指数(円換算後)は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

S & P 500指数(円換算後)は、当該日前営業日の現地終値に為替レート(対顧客電信売買相場の当日(東京)の仲値)を乗じて岡三アセットマネジメントが算出しています。

(注) 株先物比率=買建比率-売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		S & P 500指数(円換算後)		株組入比率	株先物比率
	騰落率	騰落率	(参考指数)	騰落率		
(期首) 2018年4月9日	円	%	ポイント	%	%	%
4月末	10,325	—	278,339.71	—	91.9	—
5月末	11,562	12.0	291,629.89	4.8	91.9	—
6月末	11,949	15.7	296,099.89	6.4	95.5	—
7月末	11,700	13.3	300,260.91	7.9	94.4	—
8月末	11,896	15.2	311,116.63	11.8	94.3	—
9月末	11,711	13.4	322,199.50	15.8	94.7	—
10月末	12,079	17.0	330,942.98	18.9	95.1	—
11月末	10,455	1.3	303,834.67	9.2	89.4	—
12月末	10,181	△1.4	310,653.63	11.6	94.2	—
2019年1月末	8,796	△14.8	276,260.13	△0.7	91.7	—
2月末	9,617	△6.9	292,127.21	5.0	95.3	—
3月末	9,856	△4.5	309,591.17	11.2	94.1	—
(期末) 2019年4月9日	10,027	△2.9	312,485.69	12.3	96.7	—
2019年4月9日	10,313	△0.1	322,646.69	15.9	95.0	—

(注) 騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2018年4月10日～2019年4月9日)



(注) 参考指数は、S & P 500指数 (円換算後) です。

(注) 参考指数は、期首 (2018年4月9日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・石油精製株およびパイプライン株の保有がプラスに寄与しました。
- ・個別銘柄では、石油精製株のANDEAVORやパイプライン株のONEOK INCなどが上昇したことがプラスに寄与しました。
- ・為替市場で米ドルが円に対して上昇 (円安) したことがプラスに寄与しました。

(主なマイナス要因)

- ・探査・掘削株の保有がマイナスに影響しました。
- ・個別銘柄では、CONTINENTAL RESOURCES INC/OKやCONCHO RESOURCES INCが下落したことがマイナスに影響しました。

投資環境

(2018年4月10日～2019年4月9日)

北米株式市場は、2018年4月中旬から9月下旬にかけては、企業業績が好調に推移すると期待が続いたことから小幅に上昇しました。しかし、10月上旬から12月下旬にかけては、一部企業の業績に米中貿易摩擦の影響が出てきたことや米連邦準備制度理事会 (FRB) が政策金利見通しを維持したことなどが嫌気され下落しました。2019年1月以降は、パウエルFRB議長が今後の金融政策に関して柔軟な姿勢を示したことから投資家心理が改善し、4月上旬にかけて反発する展開となりました。

原油価格は、2018年4月中旬から10月上旬にかけては、石油輸出国機構 (OPEC) による減産が下支え要因となり底堅く推移しました。その後、12月下旬にかけては、世界経済の減速懸念から大きく下落しました。2019年1月上旬から4月上旬にかけては、世界経済に対する不透明感が後退し反発しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2018年4月10日～2019年4月9日)

株式組入比率は、概ね90%以上の高位で推移させました。運用状況につきましては、探査・掘削株とパイプライン株を中心にエネルギー株を高位にウェイト付けしました。2019年1月以降は、探査・掘削株を中心にエネルギー株のウェイトを引き上げる一方、公益株のウェイトを引き下げました。国別配分では、カナダ株のウェイトを引き上げる一方、米国株およびメキシコ株のウェイトを引き下げました。個別銘柄では、カナダの鉄道輸送株やパイプライン株の買い付けなどを行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2018年4月10日～2019年4月9日)

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数としているS&P 500指数（円換算後）の騰落率を16.0%下回りました。2018年10月上旬から12月下旬にかけて原油価格が大きく下落したため、保有している探査・掘削株を中心とするエネルギー株のパフォーマンスが相対的に劣化したことが主な要因です。

今後の運用方針

(投資環境)

北米株式市場は、米中貿易摩擦の動向や世界経済の先行き不透明感が材料視されることにより、短期的には上値の重い展開になると考えています。一方で、問題解消に向けて米中両国が協議を継続していることに加え、FRBによる金融引き締めは停止により、世界経済の成長期待が高まると考えられることから、中長期的には堅調な動きを予想します。原油価格については、OPECの減産継続で需給のバランスが保たれ、今後も底堅く推移すると考えます。

(運用方針)

ファンドの基本方針に基づき、米国、カナダおよびメキシコの企業の中から、シェールガス／オイルの生産拡大により成長が期待される企業、エネルギーコストの低下により恩恵を受ける企業に投資をします。個別では、生産コストが低く財務状況が健全な探査・掘削株や配当利回りが相対的に高いパイプライン株を高位にウェイト付けします。なお、組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

○1万口当たりの費用明細

(2018年4月10日～2019年4月9日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 62 (62)	% 0.574 (0.574)	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	0 (0)	0.002 (0.002)	(b)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	11 (11) (0)	0.099 (0.098) (0.001)	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、金融商品取引を行う為の識別番号取得費用等
合 計	73	0.675	
期中の平均基準価額は、10,819円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年4月10日～2019年4月9日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 4,673	千米ドル 13,914	百株 4,915 (-)	千米ドル 15,576 (1)
	カナダ	792	千カナダドル 2,987	488	千カナダドル 1,186
	メキシコ	-	千メキシコペソ -	438	千メキシコペソ 2,272

(注) 金額は受渡代金。

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2018年4月10日～2019年4月9日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	3,645,231千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	974,790千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	3.73

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

○利害関係人との取引状況等

(2018年4月10日～2019年4月9日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	%	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	%
株式	百万円 1,798	百万円 344	19.1	百万円 1,846	百万円 395	21.4

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	5,929千円
うち利害関係人への支払額 (B)	1,314千円
(B) / (A)	22.2%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはOKASAN SECURITIES TOKYO/JAPANです。

○組入資産の明細

(2019年4月9日現在)

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
ANADARKO PETROLEUM CORP	48	—	—	—	エネルギー
CATERPILLAR INC	8	—	—	—	資本財
EOG RESOURCES INC	30	12	119	13,300	エネルギー
GARDNER DENVER HOLDINGS INC	48	—	—	—	資本財
HALLIBURTON CO	30	—	—	—	エネルギー
PHILLIPS 66	—	10	98	10,952	エネルギー
DEVON ENERGY CORP	—	90	288	32,119	エネルギー
ONEOK INC	60	18	126	14,143	エネルギー
UNITED RENTALS INC	12	—	—	—	資本財
SEMPRA ENERGY	12	—	—	—	公益事業
CABOT OIL & GAS CORP	—	135	362	40,341	エネルギー
CALLON PETROLEUM CO	140	200	155	17,359	エネルギー
CURTISS-WRIGHT CORP	12	—	—	—	資本財
UNION PACIFIC CORP	8	14	236	26,313	運輸
ATMOS ENERGY CORP	18	—	—	—	公益事業
EQT CORP	—	60	129	14,379	エネルギー
NEXTERA ENERGY INC	7	—	—	—	公益事業
GENESEEE & WYOMING INC-CL A	—	10	88	9,900	運輸
CENTERPOINT ENERGY INC	—	30	91	10,181	公益事業
VECTREN CORP	24	—	—	—	公益事業
NEW JERSEY RESOURCES CORP	25	—	—	—	公益事業
NOBLE ENERGY INC	—	85	216	24,121	エネルギー
NORFOLK SOUTHERN CORP	—	14	271	30,266	運輸
EVERSOURCE ENERGY	—	15	105	11,802	公益事業
NISOURCE INC	—	36	100	11,235	公益事業
CABOT CORP	12	—	—	—	素材
CHEVRON CORP	—	30	380	42,344	エネルギー
PIONEER NATURAL RESOURCES CO	12	—	—	—	エネルギー
CONOCOPHILLIPS	22	26	173	19,279	エネルギー
HESS CORP	—	42	264	29,519	エネルギー
MARATHON OIL CORP	160	120	211	23,531	エネルギー
MARATHON PETROLEUM CORP	24	14	88	9,883	エネルギー
OCCIDENTAL PETROLEUM CORP	—	17	116	12,950	エネルギー
ANDEAVOR	20	—	—	—	エネルギー
VALERO ENERGY CORP	30	15	129	14,406	エネルギー
WILLIAMS COS INC	35	66	191	21,325	エネルギー
WESTLAKE CHEMICAL CORP	18	—	—	—	素材
HUNTSMAN CORP	30	30	72	8,065	素材
CONTINENTAL RESOURCES INC/OK	80	35	164	18,328	エネルギー
CONCHO RESOURCES INC	24	—	—	—	エネルギー
KINDER MORGAN INC	—	116	231	25,771	エネルギー
LYONDELLBASELL INDU-CL A	28	10	91	10,175	素材
WPX ENERGY INC	190	—	—	—	エネルギー
TARGA RESOURCES CORP	30	—	—	—	エネルギー
XPO LOGISTICS INC	18	—	—	—	運輸
MATADOR RESOURCES CO	60	70	139	15,552	エネルギー

シェール関連株マザーファンド

銘柄	株数	当 期		期 末		業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
WILDHORSE RESOURCE DEVELOPME	120	—	—	—	—	エネルギー
LIBERTY OILFIELD SERVICES -A	—	55	90	10,135	—	エネルギー
ANTERO RESOURCES CORP	60	—	—	—	—	エネルギー
RSP PERMIAN INC	50	—	—	—	—	エネルギー
PARSLEY ENERGY INC-CLASS A	40	90	171	19,123	—	エネルギー
DOWDUPONT INC	15	—	—	—	—	素材
SPIRE INC	25	—	—	—	—	公益事業
CHENIERE ENERGY INC	—	53	360	40,155	—	エネルギー
SRC ENERGY INC	170	—	—	—	—	エネルギー
CARRIZO OIL & GAS INC	—	70	94	10,490	—	エネルギー
CSX CORP	25	15	113	12,638	—	運輸
DIAMONDBACK ENERGY INC	40	10	104	11,626	—	エネルギー
PDC ENERGY INC	—	25	109	12,219	—	エネルギー
CENTENNIAL RESOURCE DEVELO-A	60	—	—	—	—	エネルギー
小 計	株 数 ・ 金 額	1,880	1,638	5,689	633,942	
	銘柄 数 < 比 率 >	42	34	—	<70.7%>	
(カナダ)			千カナダドル			
CANADIAN NATURAL RESOURCES	—	50	194	16,294	—	エネルギー
CANADIAN NATL RAILWAY CO	—	15	181	15,208	—	運輸
ENBRIDGE INC	—	50	247	20,684	—	エネルギー
TRANSCANADA CORP	25	47	289	24,251	—	エネルギー
CANADIAN PACIFIC RAILWAY LTD	—	16	448	37,504	—	運輸
ENCANA CORP	270	—	—	—	—	エネルギー
SUNCOR ENERGY INC	35	52	232	19,488	—	エネルギー
GIBSON ENERGY INC	—	65	152	12,732	—	エネルギー
PEMBINA PIPELINE CORP	—	95	474	39,738	—	エネルギー
CENOVUS ENERGY INC	—	170	218	18,272	—	エネルギー
INTER PIPELINE LTD	—	74	161	13,553	—	エネルギー
小 計	株 数 ・ 金 額	330	634	2,600	217,728	
	銘柄 数 < 比 率 >	3	10	—	<24.3%>	
(メキシコ)			千メキシコペソ			
MEXICHEM SAB DE CV*	438	—	—	—	—	素材
小 計	株 数 ・ 金 額	438	—	—	—	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	—	—	<—%>	
合 計	株 数 ・ 金 額	2,648	2,272	—	851,671	
	銘柄 数 < 比 率 >	46	44	—	<95.0%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注) 株数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2019年4月9日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 851,671	% 93.1
コール・ローン等、その他	62,744	6.9
投資信託財産総額	914,415	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(870,240千円)の投資信託財産総額(914,415千円)に対する比率は95.2%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル=111.42円、1カナダドル=83.71円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年4月9日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	914,415,925 円
コール・ローン等	27,995,124
株式(評価額)	851,671,038
未収入金	33,888,961
未収配当金	860,802
(B) 負債	18,030,512
未払金	18,030,185
未払利息	32
その他未払費用	295
(C) 純資産総額(A-B)	896,385,413
元本	869,158,424
次期繰越損益金	27,226,989
(D) 受益権総口数	869,158,424口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,313円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1.0313円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は965,816,507円、期中追加設定元本額は147,546,780円、期中一部解約元本額は244,204,863円です。

(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。

シェール関連株オープン 869,158,424円

○損益の状況 (2018年4月10日～2019年4月9日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	18,560,171 円
受取配当金	18,574,018
受取利息	254
その他収益金	17,043
支払利息	△ 31,144
(B) 有価証券売買損益	△ 18,330,945
売買益	171,189,988
売買損	△189,520,933
(C) その他費用等	△ 1,022,845
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 793,619
(E) 前期繰越損益金	31,362,525
(F) 追加信託差損益金	27,453,220
(G) 解約差損益金	△ 30,795,137
(H) 計(D+E+F+G)	27,226,989
次期繰越損益金(H)	27,226,989

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

＜お知らせ＞

該当事項はございません。